

【記入例】

※主なポイントや注意点は「手引き」の4ページ目をご覧ください。

様式第1号（第6条関係）

交 付 金 交 付 申 請 書

令和3年5月19日

(宛先)

秋 田 市 長

申 請 者

〒010-8560

住 所 秋田市山王一丁目1番1号

団 体 名 秋田市若者活性化チーム

代表者名 代表 秋 田 協 働

連 絡 先 TEL 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

秋田市地域づくり交付金交付申請書

令和3年度において、次のとおり交付金の交付を受けたいので、秋田市地域づくり交付金交付要綱第6条の規定に基づき、申請します。

- 1 事業の名称 若者×地域づくり交流会
- 2 交付金の使用目的 「若者による魅力ある地域づくりの実現」等を目的とした交流会を実施する際に必要となる印刷製本費等
- 3 交付金申請額 84,000 円
- 4 事業の実施期間 令和3年5月1日 ～ 令和4年2月15日

5 申請団体の概要

本団体は20代から70代までの幅広い年代のメンバーが30名在籍しており、大学生や地域の伝統行事の担い手などで構成されている。「秋田市を元気にしたい」「魅力あるまちづくりをしたい」という思いで、様々な活動に取り組んでいる。平成29年4月に団体を立ち上げて以降、これまで年に2回ほどのペースで若者による新しい発想を取り入れた地域交流イベントを開催しており、各回参加者数は100人以上となっている。

また、SNSを通じた情報発信を行っており、総フォロワー数は1,000を超えている。

## 【記入例】

※主なポイントや注意点は「手引き」の4ページ目をご覧ください。

### 6 実施事業の概要

本団体では過去に実施してきたイベントにおいて、地域づくりに関するアンケート調査を行っており、そこで、若者側から「地域づくりに参画したいけど、いつ、どこで、どのようなことが実施されているのか分からない」といった意見が出ていた。また、地域活動の運営者側からは「何か新しいことを始めたいけど、何をやったらいいのか分からない」「運営側の人材が不足している」といった意見が出ていた。

以上のような意見を踏まえ、「若者の地域活動への参画機会の創出」および「若者による魅力ある地域づくりの実現」「人材不足の解消」などを目的に、若者と地域づくりをつなげるための交流会を開催する。

交流会は、6月から12月までの間に、1か月に1度のペースで、秋田市内各市民サービスセンターを会場に実施する。当日の主なプログラムは①アイスブレイク②プレゼン③交流会である。①アイスブレイクについては、主に若者の思いや考えについて引き出せるような企画を実施する。②プレゼンについては、地域活動関係者にそれぞれの活動内容に関する「魅力」「課題」「思い」などを発表してもらう。③交流会については、①、②の内容を踏まえて、それぞれの活動や気持ちがつながるように、本団体がファシリテーターとなり実施する。（交流会の詳細については、別紙参照）

交流会実施後も参加者同士の交流が促進されるよう、本団体で助言、連絡調整等の後方支援をしていく。また、2月には、交流会で出来たつながりや新たに創出された地域活動に関する事例発表会を開催し、本事業で出来た事例や手法について検証し、ほかの若者や地域活動関係者へ周知していく。

### 7 実施事業のアピールポイント等

- ・ただ、既存の地域活動に若者が参画するのではなく、計画の段階から参画できる機会を創出する。
- ・単発の交流会で終わりではなく、団体による後方支援や事例発表会を実施することで、ほかの地域活動にも広がるような仕掛けを取り入れている。
- ・次年度以降は、今回出来たつながり等を活かしてさらに新たなつながりを創出していくような事業展開をしていく。
- ・周知については、本団体のSNS等を活用するほか、SNSをご覧になれない人向けには広報あきたや各市民サービスセンターにチラシを設置したりするなど、幅広く周知をしていく。

### 8 交付金概算払の申請（※必要に応じ記入してください。）

#### (1) 申請理由

事業実施にあたり、周知の際に必要なチラシの印刷費や消耗品費等の支払いが必要となるため

#### (2) 概算払申請予定額 84,000 円

※① 5、6、7の事項については、別途資料（パンフレット等）がある場合、申請書に添付することにより、記載に替えることができます。

※② 団体の規約および名簿を添付してください。